

昭和二十二年六月十二日（第三種郵便物認可）  
令和二年一月十三日發行（毎月一回半三百發行）

定価 五〇〇円

第940号

高 知 書 道 會  
龍 跳

新年試筆作品号

第七十六卷

2  
月 号

竹  
村  
子  
雀  
書



竹  
村  
子  
雀  
書



行

武

筆

北代碧山

仁兄愛我俾尔傳言  
尔既歸止爰開土

心

仁兄愛我俾尔傳言尔既歸止爰開土

出間桂堂

春來梅花還發鶯啼萬物動

時丁巳上

春來梅花還發鶯啼萬物動

大黑仙雲

萬里一條鐵

公 家 二 一 三

萬里一條鐵

森本瓊象

四海浪平龍睡穩九天雲靜鶴飛高  
森本瓊象

四海浪平龍睡穩九天雲靜鶴飛高

廣末幽念

洞口桃花雨  
落日斜  
荒庭垂柳風  
輕拂柳  
半尽  
幽念

福原曉雲

洞口の桃花雨を帶び、溪頭の楊柳風を牽く

禹廟空山裏、秋風落日斜、荒庭垂柳風  
輕拂柳、半尽、幽念  
禹廟空山裏、秋風落日斜、荒庭垂柳風  
輕拂柳、半尽、幽念

禹廟空山裏、秋風落日斜、荒庭垂柳風……

梅川桂龍

新  
月の光の真直な血の發光 新月の月です  
すべての日暮が 新月となり 溢る月の暖で  
す 宗左近の詩

宗左近の詩

塚地桂峰

麗日發光華

梅川桂龍

麗日發光華

野島桂山

儉則可以傳子孫

桂山文

儉則可以傳子孫

大原桂園

椿壽

桂園文

椿壽

佐々木 港 花

今日一日無事

今日一日無事

奥 崎 跃 翠

知足者仙境

雅年少

知足者仙境

横 山 桂 華

光陰如矢

光陰如矢

岡嶠綠水

寒色五陵松

前田秀華

寒色五陵松

好奇心

好奇心

江西澄翠

誦月吟花

誦月吟花

中內桂香

下載清風

清風

前田秀華

下載清風

池 芳 春

久遠

芳春山

氏 原 美 泉

山 河 四 望 春 色

美 泉 山 芳 春

山 河 四 望 春 色

不識

芳春山

岡 田 雄 山

不識

天野喜泉

山川

四望春

天野喜泉

山川四望春

岩河里華

春江百花深

天野喜泉

春江百花深

市原處艸

中秋雲淨出滄海  
半夜露寒當碧天  
孤月瘦南望空

石川美水

禮爲教本敬者身基瞿然自失斂容折志

禮爲教本敬者身基瞿然自失斂容折志

美水

岩 谷 紅 花

馬上青年過時平白髮多  
殘軀天所許不樂復如何

紅花公鑑

馬上青年過時平白髮多殘軀天所許不樂復如何

小川理香

福壽綿々長似海春風浩々氣如河

小川理香書

福壽綿々長似海春風浩々氣如河

大八木 洋女

竹

聲

松

影

竹聲松影

岡本志峰

閑坐して春禽を聞く

閑坐して春禽を聞く

大石千施

祝融司方發其英沐

日浴月百寶生

壬辰七月

祝融司方發其英沐

岡林邦心

大道無門

邦心之印

大道無門

大嶠花梢

漠漠黃花覆水時  
時白鷺驚船

片岡政徳

德有隣

政徳畫譜

德有隣

漠漠黃花覆水時時白鷺驚船

河村容舟

動靜一貫

容舟士

佐竹江月

花開酒國春

江月乞靈

花開酒國春

隅田亘心

一生勤苦書千卷  
萬事銷磨酒百分

武政幽雅

一生勤苦書千卷  
萬事銷磨酒百分

眠雲聽泉

眠雲聽泉

中城康華

萬歲壽而康

康華一之謹

萬歲壽而康

中城知抄

敬壽瑞春

敬壽瑞春

中平美峰

人生適意を貴ぶ

己卯年  
中平美峰

長町白水

以文会友

以文会友

人生適意を貴ぶ

西山極山

新春西川深故  
國一圭書於山公

新春兩行淚故國一封書

西森令泉

迎春萬物知

令泉之書

迎春萬物知

野中惠花

瑞氣滿梅花

年年如意

瑞氣滿梅花

原桂春

山麗春風花香

桂春

山麗春風花香

広田秋桜

拈華微笑

妙入神

秋 桜 公 ■ ■

妙入神

拈華微笑

弘田賀峰

筆精妙入神

筆精妙入神

筆精妙入神

深瀨綠堂

百花開一時

森光春

百花開一時

森光望春

風暖池頭得意春

森光春

風暖池頭得意春

森本寿山

鶴棲松霧重

壽山畫

鶴棲松霧重

山下枝雪

山林受用琴  
天地交遊風月  
地支進雙月  
丁巳年冬月  
書於山中

山林受用琴書鶴天地交遊風月吾

草書千字文

唐 懷素

説 おき 等 河 ひのくは 韓 頗 牧 あら  
 韩 頗 牧 用 軍 在 棘 宣 嵩 ゆ洋 地  
 崇 仁 九 仰 看 之 云 來 並 疾 宗 怪

踐土會盟。何遵約法。韓弊煩刑。起翦頗牧。用軍取精。宣威沙漠。馳譽丹青。九州禹跡。百郡秦并。嶽宗恆岱。禪主  
 云亭。鴈門紫塞。鶴田赤城。昆

踐土に会盟す。何は約法に遵い、韓は煩刑に弊れたり。起翦頗牧は、軍を用いること最も精し、威を沙漠に宣べ、譽れを丹青に馳す。九州は禹  
 の跡なり、百郡は秦の并せたるなり。嶽は恒岱を宗とし、禪は云亭を主とす。雁門紫塞、鶴田赤城。

草書千字文 唐 懷素

懷素（七二五—七八五）は唐の僧で、長沙の人。  
貧乏で紙が買えず芭蕉の葉に書いた、とも云われています。  
この千字文は一字千金といわれ（千金帖）の名もあります。  
一筆一筆に思い入れが深く豊かで味わいがある。  
唐時代の名作を一緒に学習しましよう。



梅  
川  
桂  
龍  
書

故人京  
洛満故  
洛満人

故人

京洛に満つ

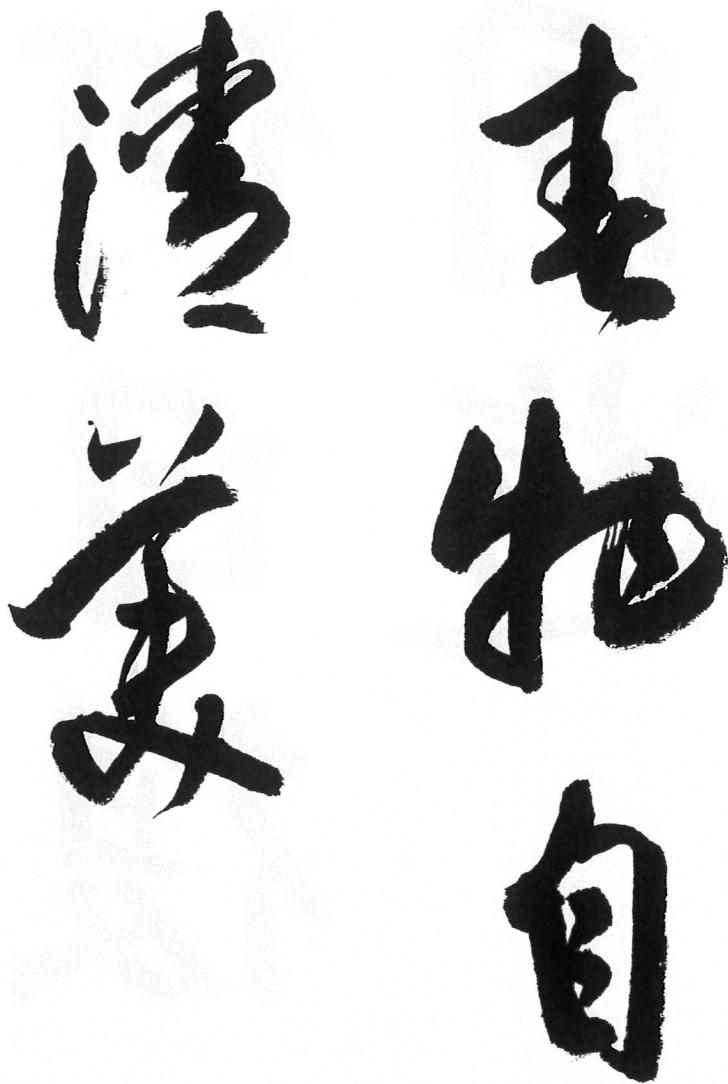
梅  
川  
桂  
龍  
書

同 何  
遊 日  
復

何  
れ  
の  
日  
か  
復  
た  
同  
遊  
せ  
ん

福 原 曉 雲 臨

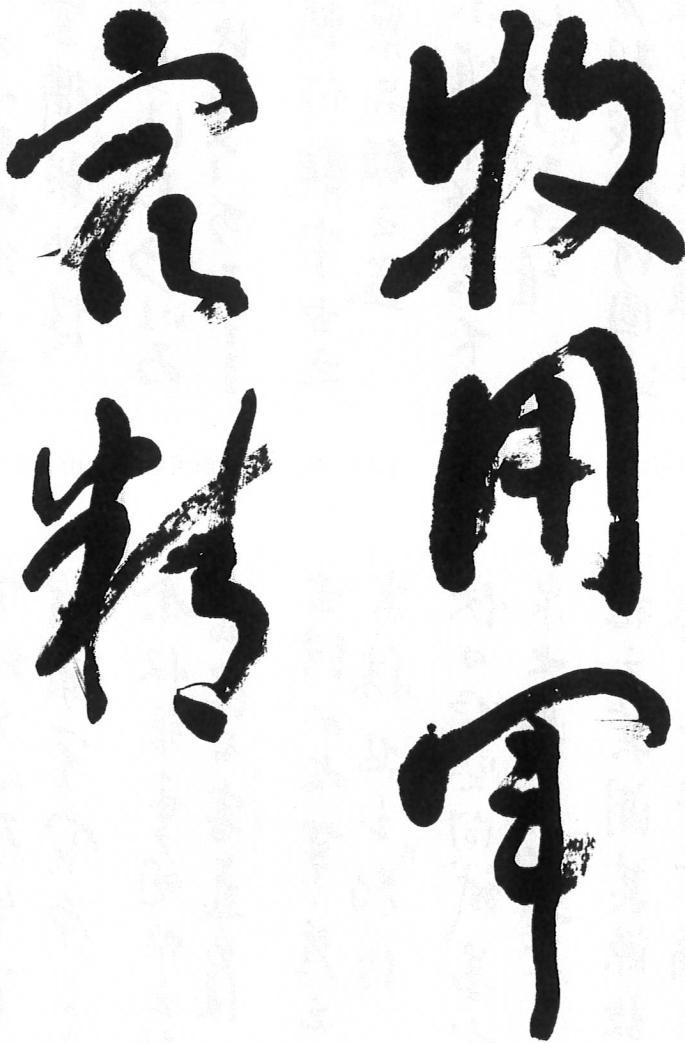
しゅんぶつみずかならせいび  
春 物 自 清 美

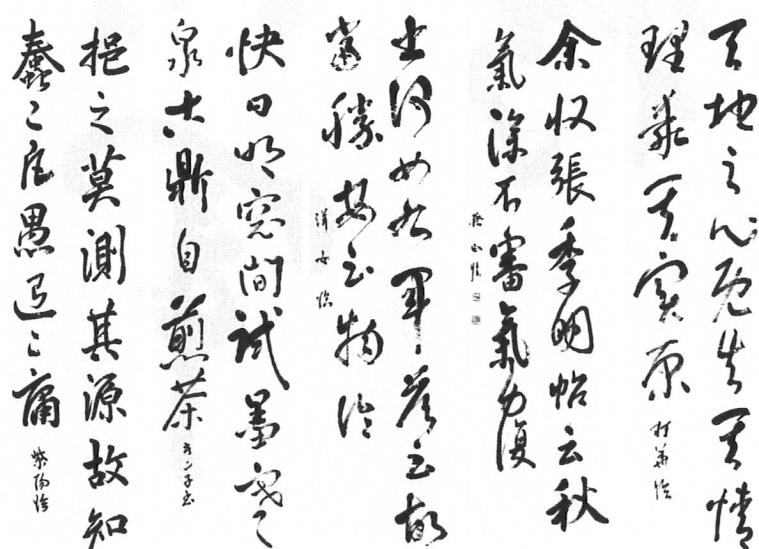
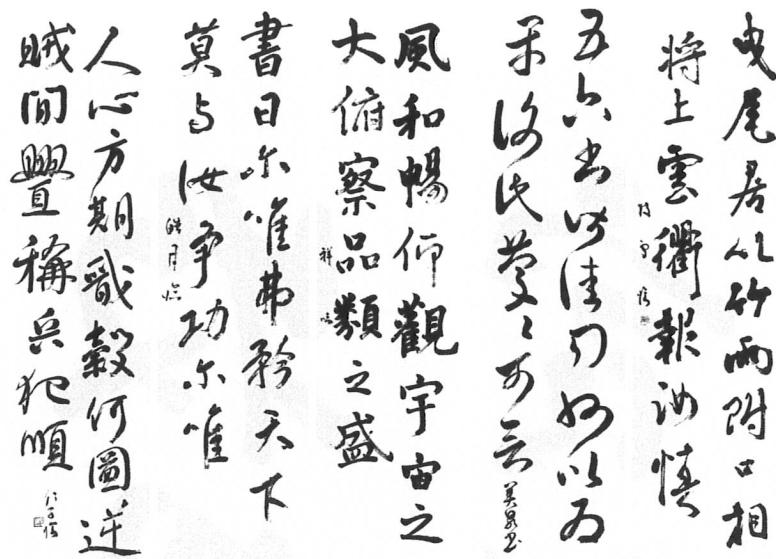


出間桂堂臨

草書千字文

牧用軍最精





条幅当選作品 北代碧山 選評

★天位

山下枝雪君||よく沈み、呼吸長くして健。

氏原美泉君||少し弱いが流れよし。

岩村 祥君||まじめな書、墨色やや鈍。

奥堂皓月君||左右の動き、やや不足か。墨量やや乏し。

西内仁子君||臨書は目を皿の如く、原本に忠実に向き合う事。殊に前半の人心方期……あたり……。

★地位

横山桂華君||筆力は充分だが、少し一本調子、呼吸大き

く。

西山極山君||少し墨色不足だが、流れそのものは良い。

大八木洋女君||体の動きがややきこちないか?「右」「安」字いまひとつ。

★人位

宮本キン子君||几帳面でよい臨書。この調子で。

大崎紫陽君||少し字形にこだわりすぎでは?字には流れも大切。

作品は毎月20日必着  
(必ず守って下さい)

▷ 次回審査会 ◇

1月の審査は26日(日曜)午前9時30分に開始します。審査会場は**高知会館**です。  
(※先月号で誤って8時30分からとしていましたが、9時30分です。)  
※審査会終了後、女流展作品の下見会を行います。  
(参加料500円)

な印  
象的  
な  
言

中學一年課題 廣末幽念書

當給

番食良

卒業の歌

2月20日締切

小学五年課題 山下枝雪書

合話

いし

小春  
川の

小学三年課題 大原桂園書

あ  
い  
う

おは

た

小学一年・ようち・ほいく課題

山本瑞草書

ひ  
る

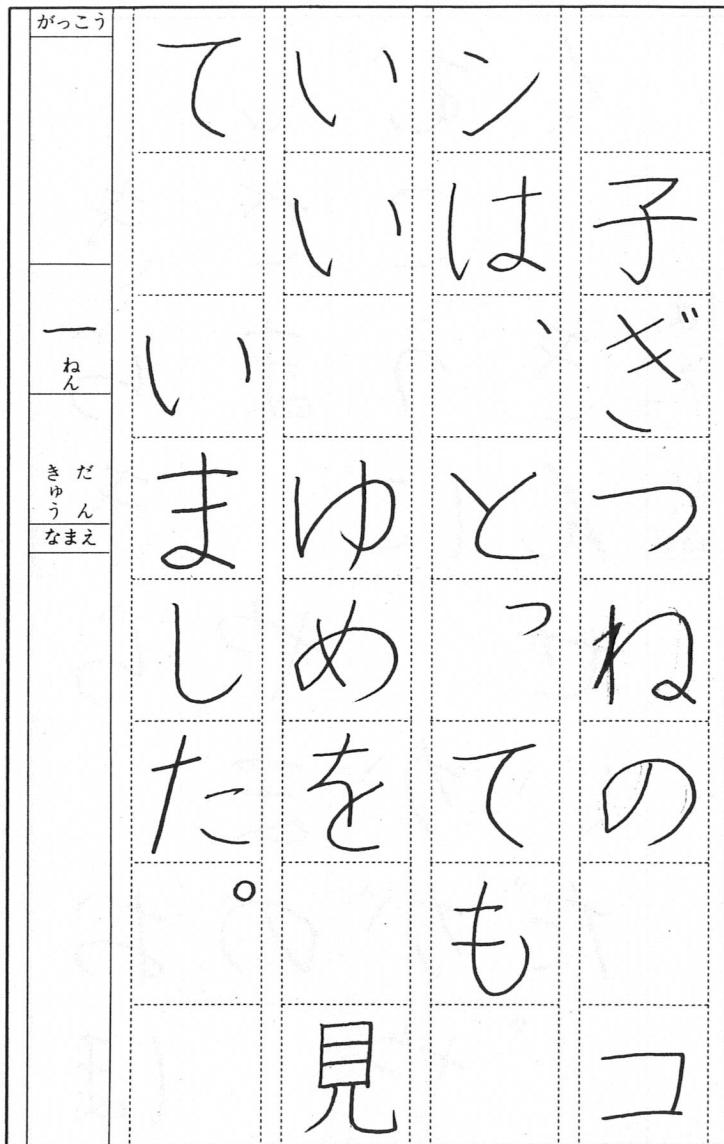
平安時代になると、万葉仮名をくずして書くところから平仮名が生まれました。いふほう、片仮名の多くは、万葉仮名の形の一部を取つて書くところから生まれました。

学 校 名	「論語」は、中国の古代の
五 年	思想家である孔子と、その弟子たちの問答を記録した書物
級 段	です。日本にも古くから伝え
氏 名	られ、人々の生き方や考え方 にえいきょううがあたえました。

学校名	一 夜 明け ると 、 台 風 は									
四年	通 り す ぎ た 。 青 く 晴 れ 上									
級段	が つ た 空 の 下 で 、 あ ん な 上									
氏名	に ゆ れ て い た 森 は 、 今 は 上									
	静 か に 太 陽 の 光 を 受 け て い る。									

学校名	つづいています。	から、	ます。	列を見かけることがあり	のすみなどでは、	夏になると、	庭や公園
年級	三 年	えさのある所まで、	行列は、	ありの巣	ありの行		
段級							
氏名							

がっこう					
二 ねん					
だん きゅう					
なまえ					
手紙を書きました。	を見つけました。	しました。	えんぴつと紙	えんぴつと紙	かえるくんは、大





## 出 品 者 の み な さ ん へ

- 出品票の記入は楷書で地名、氏名（姓号）を正確に書いて下さい。
- 段位の方は朱書き、級位の方は黒書きして下さい。
- 段位は漢数字、級位はアラビア数字で書いて下さい。
- 新規出品者は級位の欄へ「新」と書いて下さい。
- 出品は各競書一点です。
- 低学年の生徒名もできるだけ5字以内にまとめて書いて下さい。
- 落款も評価の対象になります。
- 出品票には年度と月が入っています。必ず規定のものを使って下さい。
- 出品票ははずれないよう、きちんととのりづけして下さい。

## 【認定証について】

昇段、昇級された方で認定証が入用の方は、左記によりお申し込み下さい。

記

範

三千円

★師範

準師範以下一般

二千円

★学

生

一千円

(注意

)

申込時左記事項を必ずお知らせ下さい。

① 昇段の年月日

② 学生は学校名と学年

③ 一般は市町村名

(申込先) ご希望の先生に要項を明記した文書で直接お申し込み下さい。

〒七六一ー一〇三

土佐市高岡町丙五二一六

龍跳書道会

〒七八一ー七四二二

安芸郡東洋町河内三〇四

龍跳書道会

〒七八一ー二三〇一

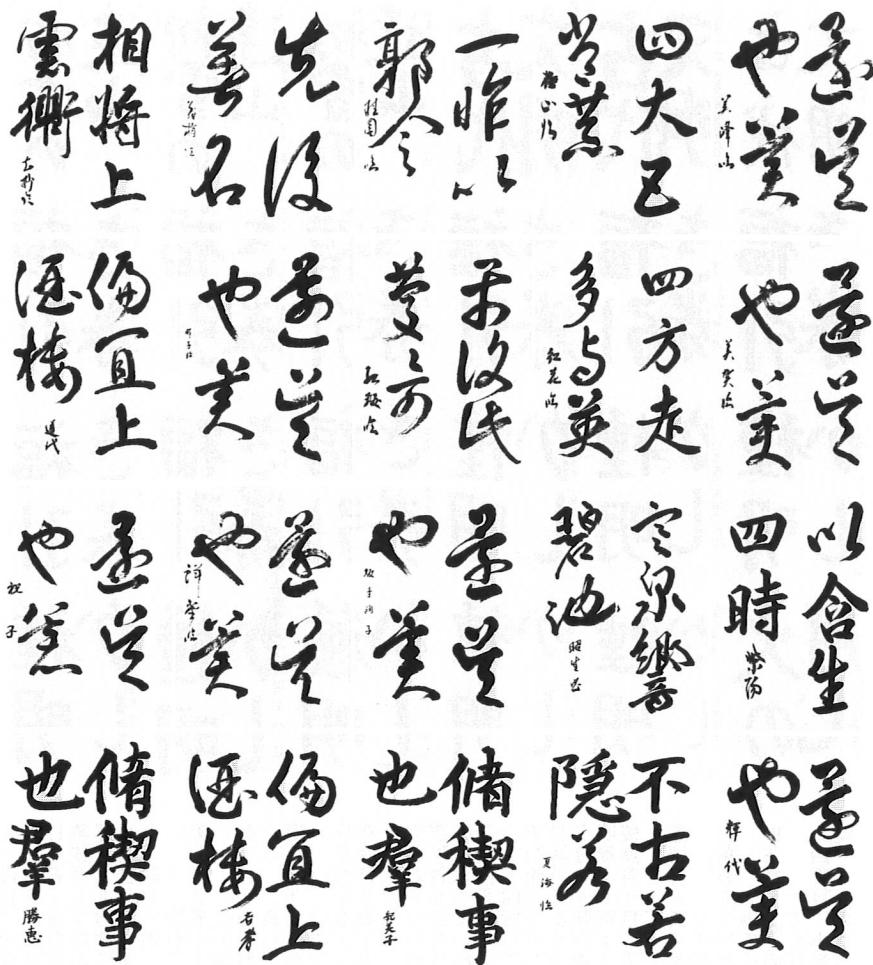
高岡郡越知町越知甲一一七一一六

龍跳書道会

梅川桂龍

偏宜上							
酒樓							
<small>桂山君 書</small>	<small>忠臣君 書</small>	<small>美賀君 書</small>	<small>清園君 書</small>	<small>仁君君 書</small>	<small>泉君君 書</small>	<small>桂山君 書</small>	<small>忠臣君 書</small>
偏宜上							
酒樓							
<small>桂山君 書</small>	<small>忠臣君 書</small>	<small>美賀君 書</small>	<small>清園君 書</small>	<small>仁君君 書</small>	<small>泉君君 書</small>	<small>桂山君 書</small>	<small>忠臣君 書</small>
偏宜上							
酒樓							
<small>桂山君 書</small>	<small>忠臣君 書</small>	<small>美賀君 書</small>	<small>清園君 書</small>	<small>仁君君 書</small>	<small>泉君君 書</small>	<small>桂山君 書</small>	<small>忠臣君 書</small>
偏宜上							
酒樓							
<small>桂山君 書</small>	<small>忠臣君 書</small>	<small>美賀君 書</small>	<small>清園君 書</small>	<small>仁君君 書</small>	<small>泉君君 書</small>	<small>桂山君 書</small>	<small>忠臣君 書</small>
偏宜上							
酒樓							
<small>桂山君 書</small>	<small>忠臣君 書</small>	<small>美賀君 書</small>	<small>清園君 書</small>	<small>仁君君 書</small>	<small>泉君君 書</small>	<small>桂山君 書</small>	<small>忠臣君 書</small>
偏宜上							
酒樓							
<small>桂山君 書</small>	<small>忠臣君 書</small>	<small>美賀君 書</small>	<small>清園君 書</small>	<small>仁君君 書</small>	<small>泉君君 書</small>	<small>桂山君 書</small>	<small>忠臣君 書</small>
偏宜上							
酒樓							
<small>桂山君 書</small>	<small>忠臣君 書</small>	<small>美賀君 書</small>	<small>清園君 書</small>	<small>仁君君 書</small>	<small>泉君君 書</small>	<small>桂山君 書</small>	<small>忠臣君 書</small>

(一段目) 惠花君のびやかな線で清潔な感じです。桂山君は一画一画が丁寧で心がこもつてゐる。美仁君は樂に運筆していくよい。平清園君は少し行意を入れ氣楽に鑑賞できる。令泉君は氣力充実、しつかりした作だ。  
 (二段目) 梅川桂龍選評  
 忠臣君は良く書き込んだ線で、氣力充実の作。  
 美賀君は大胆な筆致でまとまりよし。  
 光翠君は線に潤いあり。  
 真理君はやわらかな線でやさしさあり。  
 里仙君は屈託のない線質に魅力あり。  
 (三段目) 廣末幽念選評  
 朱鳳君は力強い線で堂々と書けています。  
 星子君は力みなく明るい作。  
 洋堂君は落ちついてよくまとめてい  
 る。英子君は眞面目な書。明るく整正。  
 伸枝君は強い線で伸び伸び書けてい  
 る。(四段目) 大八木洋女選評  
 彩華君はしっかりとした線ながら温い  
 作。増水君は丁寧で明るい作。  
 幸子君は眞面目に取り組んでいる。  
 勝恵君は力強い作。  
 千歩君は伸びやかで気持ちの良い作。



(一段目)

福原曉雲 選評

美峰君||潤渴を利かした大胆な動きのある作。

極山君||これまた前者に比して、抑揚あつて品有り。

桂園君||布地草法に難あるも筆力あり。

花梢君||近境すばらしい學習が出来ています。今後も更に精進祈ります。

知抄君||布地草法良く筆がよく流れています。出品票に臨書名を記載すること。

桂園君||大きく統いてまとまつています。出品票に臨書名を記載すること。

(二段目) 大黒仙雲 選評

美賀君||大きく統いてまとまつています。出品票に臨書名を記載すること。

紅花君||字々整い明るい。

紅瑛君||鋭い線で貫き整つていて、明子君||字々大きくなつていて。

(三段目) 野島桂山 選評

紫陽君||溫和で良く整つた作品。

昭生君||強い線で字々しつかりして

いる。

絢子君||力強い作品。

洋堂君||思い切りよく書けていて、祝子君||素直によくまとめていて。

(四段目) 佐々木港花 選評

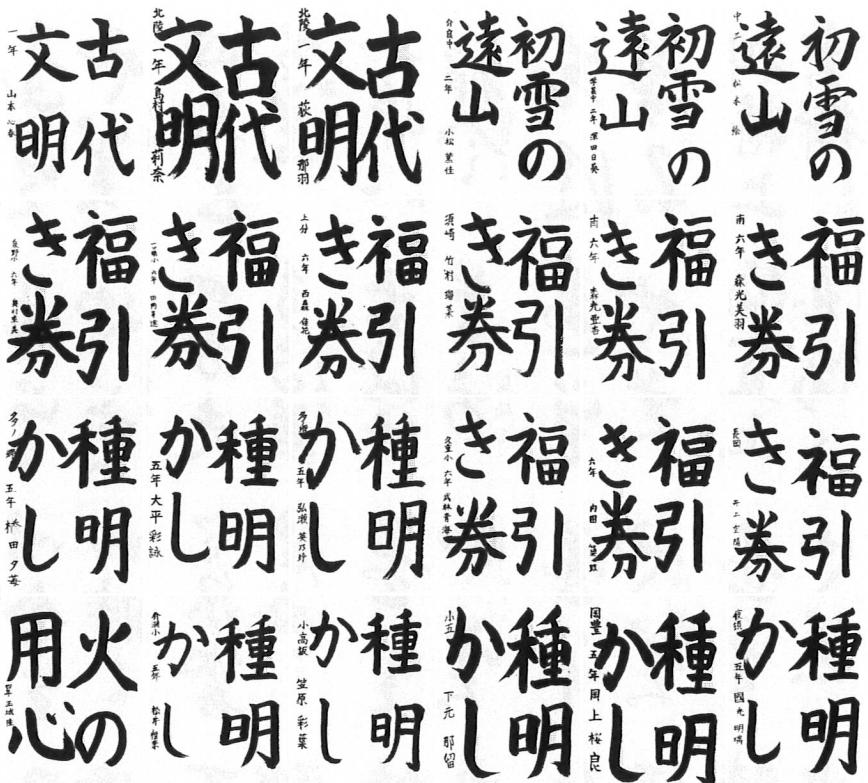
輝代君||動きあり、落款右すぎ。

夏海君||真面目な勉強のあとが見えます。

紀美子君||骨力ありしつかり書かれています。

吉孝君||落款の位置一考。

勝恵君||初行目が右に寄り過ぎです。



(一段) 中学部

岡林邦心

選評

初雪の遠山

福引き券

福引き券

種明かし

絵君 || 紙面にバランスよくまとめてある。  
日葵君 || 落ち着いてよくまとめてある。  
市原處艸選評  
那羽君 || 力強くて良い。  
莉奈君 || 大らかにまとめて良い。

心春君 || 一画がしっかりと書いてある。  
(一・二段目) 小学六年 市原處艸選評  
美羽君 || 形がすばらしく整っていて、筆づかいも良い。  
この調子でがんばって下さい。  
亞杏君 || 伸び伸びと気持ち良く、しっかりと書いていて  
良い。

瑞菜君 || 大らかに書いていて、紙面にうまくおさめて

います。しつかり書けました。

佳花君 || 形よくしっかり書けました。

芽途君 || お手本を良く見て、ていねいに書いています。

来美君 || ていねいに上手に書いています。

空陽君 || 落ちついて、しつかり書けます。

築亥君 || いいねに書いています。がんばって。

青海君 || ゆったりと書いていいねに書いていい良い。

(三・四段目) 小学五年 中平美峰選評

英乃玲君 || のびのびと書いています。

彩詠君 || よくまとめてあります。

夕苺君 || 強い線で元気よく書けています。

明瑠君 || 形よく書けています。

桜良君 || 良く書けているが「種」の左払いに気をつけ

ています。

那留君 || 良く書けています。横線に気をつけるといい

ですね。

彩葉君 || ていねいですが、もう少し思い切って書いて

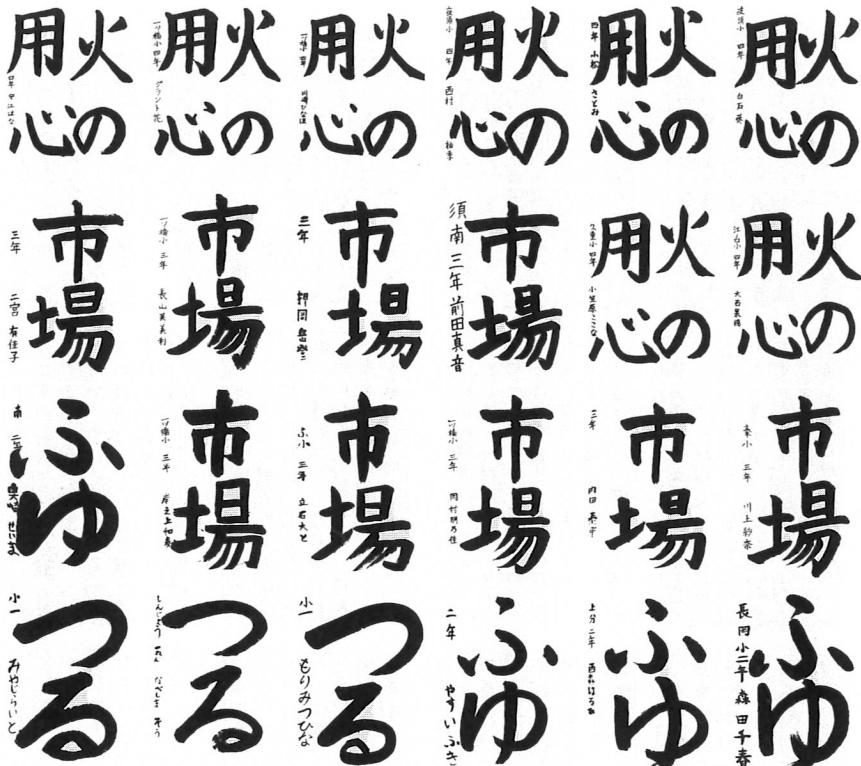
みてください。

柑奈君 || 「明」の横線に力をつけて、これからも頑張つ

てください。

(四段目) 小学四年 陸君 || おちついた線でていねいに書けています。

岡本志峰選評



葵君のびやかにかけています。

さとみ君は元気のある字ですね。

柚季君のびのびかけています。

ひなほ君はすなおにかけています。

グラント花君はおちついてかけています。

はな君は明るくかけています。

果穂君はふで使いが上手ですね。力もある。

ここな君はやわらかい線でおちついています。

(一・三段目) 小学三年 真音君

岳登君はしつかりした作品です。

英美利君はていねいに書いています。

(二・三段目) 小学三年 立石佳子君

有佳子君はやわらかい線でおちついています。

紗奈君は大らかな作品です。

泰平君は落ちついて書けました。

朋乃佳君はゆつたりしています。

大と君は思いきりよく書いています。

和奏君は元気に書けました。これからもがんばって。

(三・四段目) 小学二年 石川美水君

せいま君は大きくて強く書けました。

千春君は伸びやかにていねいに書いています。

はるひ君は元気いっぱい書けました。

ふき君はていねいに書いています。

(四段目) 小学一年 ようちほいく 奥崎躍翠

ひな君はのびのびと、力強く書いています。

そう君はげんきでよくまとめています。

らいと君はゆつたりと、大らかに書けました。

葵君は元気いっぱい書いています。

ひな君はのびのびと、力強く書いています。

そう君はげんきでよくまとめています。

らいと君はゆつたりと、大らかに書けました。

葵君は元気いっぱい書いています。

ひなほ君はすなおにかけています。

大原桂園選評

選評

# 硬筆優秀作品

舟入  
久重  
武林  
青海那

多ノ内  
浦ノ内  
橋田  
矢野  
結理奈

新莊  
玉城  
陸花

江ノ口  
多ノ郷  
橋田  
茉奈

浦ノ内  
大友銀次郎  
森光  
亞杏

須崎  
多ノ郷  
小川  
紗良  
弘瀨英乃玲

甲浦  
浦ノ内  
川田  
音緒  
上田  
梨里香

清新  
浦ノ内  
濱田  
ななみ  
森田  
愛咲

こよみのうえでは、立秋から立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、「どんな言葉で表されているでしょう。」

こよみのうえでは、立秋から立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、「どんな言葉で表されていりましょう。」

こよみのうえでは、立秋から立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、「どんな言葉で表されていりましょう。」

こよみのうえでは、立秋から立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、「どんな言葉で表されていりましょう。」

儀兵衛の熱意は、外を向こうとしていた村人たちの足を止めた。そして、資金を得られる仕事があり、それが村のためになるという案は、村人たちをふり返らせた。

儀兵衛の熱意は、外を向こうとしていた村人たちの足を止めた。そして、資金を得られる仕事があり、それが村のためになるという案は、村人たちをふり返らせた。

儀兵衛の熱意は、外を向こうとしていた村人たちの足を止めた。そして、資金を得られる仕事があり、それが村のためになるという案は、村人たちをふり返らせた。

儀兵衛の熱意は、外を向こうとしていた村人たちの足を止めた。そして、資金を得られる仕事があり、それが村のためになるという案は、村人たちをふり返らせた。

テレビでサッカーの試合を放送しています。会場全体が、静かに、こうふんをおさえて、開始を待ち受けている感じが伝わります。

テレビでサッカーの試合を放送しています。会場全体が、静かに、こうふんをおさえて、開始を待ち受けている感じが伝わります。

テレビでサッカーの試合を放送しています。会場全体が、静かに、こうふんをおさえて、開始を待ち受けている感じが伝わります。

テレビでサッカーの試合を放送しています。会場全体が、静かに、こうふんをおさえて、開始を待ち受けている感じが伝わります。

大豆はいろいろなますが、たで食べられています。大豆のよいところに気づき、食事に取り入れてきました。昔の人々のちえにおどろかされます。

テレビでサッカーの試合を放送しています。会場全体が、静かに、こうふんをおさえて、開始を待ち受けている感じが伝わります。

テレビでサッカーの試合を放送しています。会場全体が、静かに、こうふんをおさえて、開始を待ち受けている感じが伝わります。

テレビでサッカーの試合を放送しています。会場全体が、静かに、こうふんをおさえて、開始を待ち受けている感じが伝わります。

# 硬筆優秀作品

秦 長岡  
川上 紗奈  
二宮有佳子

大豆はいろいろなすが  
大豆は食べられていますが  
大豆のよいところに気づ  
食事に取り入れてき  
た昔の人々のちえにおど  
ろかされます。

須南 前田 真音  
上分 弘田 せいな

江波 戸波  
戸田 彩希  
早川のぞむ

ぼくは、空を  
ぼくは、空を  
思う。雲の上をさ  
んぽしたら、楽しい。

ぼくは、空を  
ぼくは、空を  
思う。雲の上をさ  
んぽしたら、楽しい。

ぼくは、空を  
ぼくは、空を  
思う。雲の上をさ  
んぽしたら、楽しい。

ぼくは、空を  
ぼくは、空を  
思う。雲の上をさ  
んぽしたら、楽しい。

戸波 飯田ひかり  
塙見 維那

しんじょう  
うらの内  
みやじらいと  
なべしまそ  
うらの内  
なじらいと

おみせには、  
おみせには、  
おみせには、  
おみせには、

おみせには、  
おみせには、  
おみせには、  
おみせには、

おみせには、  
おみせには、  
おみせには、  
おみせには、

おみせには、  
おみせには、  
おみせには、  
おみせには、

甲浦 川田せいば  
おおのごう もりみづひな

ながおか  
たまきはるね  
うち  
もりたみさき  
たまきはるね

うんどうかい  
うんどうかい  
うれしいな。  
うれしいな。

うんどうかい  
うんどうかい  
うれしいな。  
うれしいな。

うんどうかい  
うんどうかい  
うれしいな。  
うれしいな。

うんどうかい  
うんどうかい  
うれしいな。  
うれしいな。

一ツばし うじはらいちの  
うらの内 ふじ田 結あ

第901回 競書成績

○印規定・随意共通昇級

条幅

(※印写真版)

★  
元位

※氏原美泉  
※岩村祥  
※奥堂皓月  
※西内仁子

★地位

※ 横山桂華  
※ 西山極川  
※ 大八木洋女  
大原桂蘭  
利谷喜代子  
中平美峰  
今井真理  
笠原多嘉  
村上紅媛  
中澤英子  
田村和子  
中内桂香  
野中恵花

※ 宮本キンヤ  
田代紫陽子  
門田恵子  
池芳春  
藤原朱鳳  
岩谷紅花  
河村容舟  
久保地初恵  
浜崎洋介  
別沼役美佐  
武政幽雅  
山脇佳月  
広田秋桜  
森田香翠  
岡田希望  
森光春  
岡田香翠  
伊藤彰二郎  
山崎恵春  
岡林邦心  
川渕瑞容  
山

吉永光翠  
市川芳享  
深瀬綠堂  
大石千施  
中城知抄  
大野美賀  
岡本空仁

★人位

※宮本キン子  
※大城紫陽  
門田恵子  
池芳春  
藤原朱鳳  
岩谷紅花  
河村容舟  
久保地切恵

弘田賀峰 津野恵泉 山本恵歩 岩河里華 坂本碧香 佐本里仙  
岡林 翠 明美桂 田貴志子 吉永美知 西村由香 中城康華 濱田千舟  
山川百合 和田風和 北哲郎 高橋典子 橋本祝子 岡澤さわ 原村昭生 岩崎桂春  
村竹山

窪新須久須津旭吾須旭山旭旭久越久山上山高津多大豊窪大山香旭土窪旭  
川田南礼南野筆桑南筆田筆筆札知礼田加田知野ノ野中川野田北筆佐川筆  
郷見 見

天野喜泉	尾崎勢葉	原桂春
伊川潤美	津子	春
高橋朱鳥	林綠翠	大石千施
芝田琴春	逸見翠雲	萩原
今橋伯水	西村芳香	高橋
桑原智子	高橋	山中紅葉
西内仁子	田村和子	高橋青龍
佐竹江月	中村里園	高橋
長町白水	横山桂華	氏原美泉
平井桂草	窪田惠子	森光望春
門田恵子	河竹谷容	中城知御
別役美佐	佐竹雀園	
奥崎躍翠		
高橋典子		
門田恵子		
別役美佐		
奥崎躍翠		
高橋典子		
門田恵子		
別役美佐		

出品票の名前は楷書ではっきり書いて下さい。

★出品票は黒枠をきちんと切つて下さい。  
★臨書は出典名を記入のこと。

木村会館 旭筆の文化祭風景（令和元年11月）



## 連絡・問い合わせ・送り先等

新規入会申込と会費の送金先

「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎一三二二一ー

隅田亘心

龍跳書道会 振替口座番号

01690-3-31925

電話 (〇八八九) 三一五一〇九七一一番

月例作品の送り先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極山

電話 (〇八八八) 八六五一八八五七番

「龍跳誌」の内容について

〒781-6410 安芸郡田野町一四五六一一九

廣末幽念

電話 (〇八八七) 三八一五一〇八番

編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛冶町六一八

江西澄翠

電話 (〇八八九) 四二一ー二〇六七番

送本についての連絡先  
(冊数の相違等については当方へ連絡下さい。)

〒785-0055 須崎市大谷二一〇四

野中恵花

電話 (〇八八九) 四七一〇七一一番

あとがき

龍跳の皆さん、昨年は色々とお世話様になりました。有難うございました。令和二年も特に龍跳のことをよろしくお願ひ致します。

さて、新年を迎え早速昇段試験の発表がありました。私は四十歳後半の頃から町田先生に弟子入りしたのですが、それ以後、随分昇段のときには指導を受けました。

いつも熱心な先生の書に対する情熱に引き込まれていきました。

「わしんくへ来て書きゆうといろを見んかよ」とよく言われていました。勿論、お伺いしていました。」口で云つてもわからんことがある“ということか、と思いました。まずは姿勢、体全体で書く、筆をおこす。など～～～。手本については、これをよく見て書けば合格する、とまで（自信をつけることか）聞きました。指導する人は自分の力を出し切つて臨書や創作を、と。

私は早いほどよいので手本を渡しましたが、まだ時間は充分あります。  
昇段のことばかり書きましたが「今」が大事、「今がほしい」と思つて、ぜひ挑戦するようよろしくお願ひします。

# 月例競書課題

月例作品送り先	保育	年	二年	三年	四年	五年	小学六年	年	二年	中学三年	半紙隨意	半紙規定	一般条幅	部別	締切日
〒783 081 南国市片山四九〇	ひ	こ	あ	春	話	卒	給	印象的	任	何日復同遊	任	二月二十日	締切	締切	締切
	る	た	ら	の小川	し合い	業の歌	食当番	な話	意	遊	意	三月二十日			
西山極山宛 865-8857	し	さ	豆	七草がゆ	行き	古い伝統	記念写真	明解な答弁	任	別業居幽虚	任	三月二十日	締切	締切	締切
	た	く	ま	まき	帰り				意		意	三月二十日			

## 会費の送金について

会費：半年分 3,000円／1年分 6,000円

### 1ヶ月の龍跳誌郵送料

(幸便搬送の方は料金不要)

Ⓐ	1冊～3冊	80円
Ⓑ	4冊～8冊	150円
Ⓒ	9冊・10冊	210円

11冊以上は次の計算による。(1ヶ月分)

$$\begin{aligned} \text{Ⓐ} &+ \text{Ⓑ} = 290 \text{円} \times \text{月数} \\ \text{Ⓑ} &+ \text{Ⓒ} = 360 \text{円} \times \text{〃} \\ \text{Ⓒ} \times 3 &= 630 \text{円} \times \text{〃} \end{aligned}$$

◎会費と龍跳誌料は原則として半年分または1年分前納のこと。

◎送金は次の何れかへ  
 • 〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心  
 • 振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会  
 (お問い合わせ) ☎ 0889-35-0971

○月号(○冊)より○月号まで○ヶ月分  
 誌代 ○円 / 料 ○円

と記入のこと。

印刷所	発行所	発行人	編集室
(有) 笹岡印刷所 須崎市東古市町二二一六 電話 (088) 四二一〇二四四	龍跳書道会 電話 (088) 三八一五二〇八	廣末幽念(本部) 安芸郡田野町一四五六一九 電話 (088) 三八一五二〇八	中平美峰 江西澄翠 前田秀華 野島桂山 北代碧山 廣末幽念